

# 生活科のイメージ（たたき台）

平成28年4月25日  
生活・総合的な学習の時間WG  
資料2-2

（社会、理科の見方や考え方については、社会・地理歴史・公民ワーキンググループ、理科ワーキンググループでそれぞれ検討中）

小学校  
中学年

教科等の特質に応じた  
「見方や考え方」や  
資質・能力を育むとともに、  
教科横断的にそれらを  
総合・統合していく学び

## 社会

### 社会的事象の 見方や考え方

位置や空間的な広がり、時期  
や時間の経過、事象相互、  
立場相互の関係に着目して  
社会的事象を見出し、比較・  
分類したり総合したりして国民  
(人々の)生活と関連づけること

## 総合的な学習の時間

### 探究的な見方・考え方(案)

実社会や実生活の中から問を見だし、よりよい課  
題解決に向けて、各教科等の特質に応じて育まれ  
る見方や考え方を総合的に活用して、複数の事象  
を捉えて考えたり、一つの事象を多様な角度から  
捉えて考えたり、現実の文脈の中で物事を捉えて  
考えたり、自分自身の生き方と関連づけたりして捉  
えて考えたりしながら、物事の本質を探って見極め  
ようとする事

## 理科

### 自然の事物・現象に ついての見方や考え方

自然の事物・現象について、  
主として量的・関係的、質  
的・実体的、多様性と共通  
性、時間的・空間的な視点  
で捉え、問題解決の過程  
を通して考えること

小学校  
低学年

国語  
算数

## 生活科

### ＜生活科の特質に応じて育まれる見方や考え方(案)＞

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、工夫、試行、予測すること  
などを通して自分自身や自分の生活について考えること

**生活科の特質に応じて育まれる見方や考え方を生かして具体的な活動や体験を行うこと  
を通して、自立し生活を豊かにしていくために必要な資質・能力を育成する**

- 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、  
関係性に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける
- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活につい  
て考え表現する力を育成する
- 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、豊かな生活に向けて意欲や自信を持っ  
て行動する態度を育てる

音楽  
図画  
工作  
体育  
道徳  
特別  
活動

生活科を中心としたスタートカリキュラムの  
中で、合科的・関連的な指導も含め、子  
供の生活の流れの中で、幼児期の終わり  
までに育った姿が発揮できるような工夫  
を行いながら、短時間学習なども含めた工  
夫を行うことにより、幼児期に総合的に育  
まれた「見方や考え方」や資質・能力を、  
徐々に各教科等の特質に応じた学びにつ  
なげていく時期

接続  
期

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿  
を手がかりとしながら、幼児の得意なと  
ころや更に伸ばしたいところを見極め、そ  
れらに応じた関わりをしたり、  
より自立的・協同的な活動を促したりす  
るなど、意図的・計画的な環境の構成  
に基づいた総合的な指導の中で、バラ  
ンスよく「見方や考え方」や資質・能力  
を育む時期

## 「スタートカリキュラム」を通じて、各教科等の特質に応じた学びにつなぐ

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

幼児  
教育

遊びや生活の中で、  
幼児期の特性に応じた  
「見方や考え方」や  
資質・能力を育む学び

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

※各教科等の「見方・考え方」を踏まえて、関係性を示したものである。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目の濃淡は、小学校教育との関連が分かるように示したものであり、基本的にはすべての教科に関わっているが、濃い部分は特に意識的につながりを考えていくことが求められるもの。幼児教育において小学校教育を前倒して行うことを意図したものではない。